

令和 6 年度 北九州市立 中井小 学校 スクールプラン

学校教育目標		「心身ともに健康な子どもの育成」～思いやりの心をもち、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成～	
項目1	子どもの学び に関すること		
	重点目標	自分の考えをもち、互いの考えを伝え合い、認め合いながら学ぶ子どもの育成	重点的取組
	指標	◆「自分の思いや考えを書いたり、みんなへ話したりすることができる」について肯定的な回答をした子どもの割合【88%以上】 ◆「ICTを活用して個別最適な学びや協働的な学びの実現を図った」について肯定的な回答をした職員の割合【100%】	
項目2	子どもの心の育ち に関すること		
	重点目標	安心感を感じながら、自他ともに大切にできる子どもの育成	重点的取組
	指標	◆「学校に行くのが楽しい」について、肯定的な回答をした子どもの割合【85%以上】 ◆「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について肯定的な回答をした子どもの割合【100%】	
項目3	子どもの体力 に関すること		
	重点目標	主体的に運動に取り組む子どもの育成	重点的取組
	指標	◆「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」について、肯定的な回答をした児童の割合【90%以上】	
項目4	小中一貫教育 に関すること		
	重点目標	地域に愛着をもち、つながり合う児童の育成	重点的取組
	指標	◆「校内や地域で進んであいさつをしている」について、肯定的な回答をした児童の割合【80%】 ◆「小中一貫の取り組みが中学校生活への不安を和らげることにつながった」について、肯定的な回答をした児童の割合【75%以上】	
項目5	業務改善 に関すること		
	重点目標	働きやすい職場づくり	重点的取組
	指標	◆「自分の目標をもち、働きがいをもって仕事をしている。」について、肯定的な回答をした職員の割合【80%】	
重点的取組			
○自信をもって自分の考えを表現できるようにするために、中井っ子タイム（帯取り学習）を利用し、学力保障を行い、考えをもつための土台をつくる。 ○自分の考えを発信したり、他者の様々な考えに触れたりできるように、交流活動の機会を工夫する。 ○考えをつくる場面や学び合いの場面で子どもたちが主体的にGIGA端末を活用できるようにするために、ICTを活用した授業改善を図る。 ○子どもたちのアイデアを大切にした学級活動や縦割り活動、クラブ・委員会活動等を積極的に行い、学級や学年、学校の一員としての仲間意識や自己有用感を高める。 ○友達のよさを認めること、進んで挨拶をしたり温かい言葉かけをしたりすることができるように、全職員が率先して範を示す。 ○子どものよさを認めること、人権感覚を研ぎ澄まして指導に当たること全職員が努める。年3回アンケートを実施し、面談を確実にを行い、いじめゼロを目指す。 ○子どもが取組の達成感や運動する喜びを感じ、運動する意欲を高めることができるように、授業や学校行事の中で、発表の場を設け、よさを見つけたりアドバイスをし合ったりする。 ○授業の中で「できた」を実感できるようにするために、スモールステップの場を作ったり、技のこつの解説を行ったりする。 ○フレッシュ笑顔ミーティングや、学級目標の共有など、中学校区で同じ取組を行う。 ○中学校への体験授業や部活動見学、中学校の職員による出前授業を通して、中学校への緩やかな接続を行う。 ○校内でのあいさつ運動や、登下校中の地域の方への挨拶を通して、地域コミュニティーへの意識を高める。 ○全学年授業のない水曜日6校時の時間に終了時刻を決めて、職員会議や研修、学年会等を計画的に行う。 ○持ち合い授業や専科指導を充実させる。 ○学年会や部会等の充実にも努め、チームで組織だって動くようにする。			

○自信をもって自分の考えを表現できるようにするために、中井っ子タイム（帯取り学習）を利用し、学力保障を行い、考えをもつための土台をつくる。
○自分の考えを発信したり、他者の様々な考えに触れたりできるように、交流活動の機会を工夫する。
○考えをつくる場面や学び合いの場面で子どもたちが主体的にGIGA端末を活用できるようにするために、ICTを活用した授業改善を図る。

○子どもたちのアイデアを大切にしたい学級活動や縦割り活動、クラブ・委員会活動等を積極的にを行い、学級や学年、学校の一員としての仲間意識や自己有用感を高める。
○友達のよさを認めること、進んで挨拶をしたり温かい言葉かけをしたりすることができるように、全職員が率先して範を示す。
○子どものよさを認めること、人権感覚を研ぎ澄まして指導に当たることに全職員が努める。年3回アンケートを実施し、面談を確実にを行い、いじめゼロを目指す。

○子どもが取組の達成感や運動する喜びを感じ、運動する意欲を高めることができるように、授業や学校行事の中で、発表の場を設け、よさを見つけたらアドバイスを合ったりする。
○授業の中で「できた」を実感できるようにするために、スモールステップの場を作ったり、技のこつこの解説を行ったりする。

○フレッシュ笑顔ミーティングや、学級目標の共有など、中学校区で同じ取組を行う。
○中学校への体験授業や部活動見学、中学校の職員による出前授業を通して、中学校への緩やかな接続を行う。
○校内でのあいさつ運動や、登下校中の地域の方への挨拶を通して、地域コミュニティへの意識を高める。

○全学年授業のない水曜日6校時の時間に終了時刻を決めて、職員会議や研修、学年会等を計画的に行う。
○持ち合い授業や専科指導を充実させる。
○学年会や部会等の充実にも努め、チームで組織だって動くようにする。